

2025年度全国通訳案内士試験
第1次筆記試験
＜一般常識＞の傾向と対策

ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

目次

1	2025年度<ガイドライン>
2	問題作成委員、配点構成、問題数
3	<合格への道><無料学習サイト>
4	2024年度(令和5年度)の問題分析
5	2023年度(令和5年度)の問題分析
6	2022年度(令和4年度)の問題分析
7	2021年度(令和3年度)の問題分析
8	2020年度(令和2年度)の問題分析
9	2019年度(令和元年度)の問題分析
10	2018年度(平成30年度)の問題分析
11	令和6年(2024年)版「観光白書」から出題が予想される最重要事項
20	モデル観光地11地域に関する観光庁資料
21	2015年度～2024年度に2回～8回出題された重要項目
21	2015年度～2024年度に1回出題された重要項目
24	日本の世界遺産
26	佐渡島の金山
27	奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島
28	北海道北東北の縄文遺跡群
29	百舌鳥・古市古墳群
31	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
32	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
36	日本の無形文化遺産
37	外国人に人気の日本の観光スポットランキング<ベスト30>
38	オリンピック
39	日本の城
39	クルーズトレイン(レストラン列車)
40	日本遺産
42	ラグビーワールドカップ
49	FIFAワールドカップ
43	大相撲
43	交通系ICカード全国相互利用サービス
44	浮世絵
44	MICE
45	映画・アニメ
45	民泊
47	能舞台
48	最重要事項のまとめ
	<予想問題>
51	予想問題(日本国憲法)
52	予想問題(選挙制度)
53	予想問題(裁判、内閣と行政、経済論、経済史)
54	予想問題(金融)(財政)(経済)
	<過去問>
56	2024年度問題
61	2023年度問題
67	2022年度問題
73	2021年度問題
78	2020年度問題
86	2019年度問題
93	2018年度(平成30年度)問題
98	2017年度(平成29年度)問題
105	2016年度(平成28年度)問題

<ガイドライン>

●2025 年度<ガイドライン>

<試験全体について>

日本地理、日本歴史及び一般常識についての筆記試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)のうち、**外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識**を問うものとする。

(1)免除規定:

大学入学共通テストの現代社会又は旧現代社会について80点以上を得た者(当該得点を得た試験の行われた日の属する年度又は当該年度の末日から起算して5年以内に実施される全国通訳案内士試験を受ける者に限る。)が全国通訳案内士試験を受験する場合は、一般常識についての筆記試験を免除する。

(2)試験方法

・試験は、現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識(例えば、**試験実施年度の前年度に発行された「観光白書」**のうち、外国人観光旅客の誘客に効果的な主要施策及び旅行者の安全・安心確保に必要となる知識、並びに新聞(一般紙)の1面等で大きく取り上げられた時事問題等)を問うものとする。

・試験の方法は、**多肢選択式(マークシート方式)**とする。

・試験の満点は、**50点**とする。

・問題の数は、**20問程度**とする。

・試験時間は、**20分**とする。

・問題数:2018年、2019年は**20問**、2020年は**23問**、2021年は**20問**、2022年は**20問**、2023年は**19問**、**2024年は17問**)

(3)合否判定

・合否判定は、原則として**30点(60%)**を合格基準点として行う。

・実際の平均点が合格基準点から著しく乖離した科目については、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催する。この調整は、平均点の乖離度及び得点分布を考慮して行う。なお、過去数年間、合格基準点が下げられることはあっても上げられることはなかった。

●そもそも、「合格基準点」とは何か？

全国通訳案内士試験は、1949年から約75年の歴史を持つ試験だが、長年に渡り、「**難問、奇問、珍問の通訳案内士試験**」の異名を誇ってきた。下記は、その件で、私が「AERA」から取材を受けた記事である。[問題がニッチすぎる？難問奇問珍問の国家資格「通訳案内士」](#)

マスコミに叩かれるようになって初めて、観光庁も思い腰を上げ、「ガイドライン」→「合格基準点」の設定、改正を重ねてきたが、その際、**<合格基準点＝出題者が、その科目の平均点となるように作成する基準点>**ということが大前提となってきた。つまり、平均点を取れば、合格ということである。

●一番の問題点は、現場の通訳案内士が実際に必要とされる(観光)知識から乖離していることである。

●「一般常識」が「一般常識」と「通訳案内の実務」に二分割された理由、過去3年間の問題の易化の理由

マスコミの批判を受けて、観光庁は、2016年9月の第18回「通訳案内士制度のあり方に関する検討会」から、本格的に「試験制度の見直し」に着手し、「地理、歴史、一般常識の出題範囲を明確化すべき」「現在の合格者は旅行の現場で全く使いものにならないので、旅程管理を含む通訳案内の実務に関する問題を出題すべき」との委員の意見を踏まえて、「一般常識」は、通訳案内士として知っておくべき「一般常識」と合格後に現場で必要とされる「通訳案内の実務」に二分割された。

問題作成委員

●問題作成委員

2018年度から2020年度までの出題形式、内容、配点構成を分析すると、
〈一般常識〉の問題作成委員は、2グループ(1グループ2名)が担当したと考えられる。

【Aグループ】2018年度～2019年度を担当

【Bグループ】2020年度～2022年度を担当

【Cグループ】2023年度、2024年度を担当

【Cグループ】が、2025年度を担当するかどうかは、不明であるが、直近(7年分)の既出問題(2018年度、2019年度、2020年度、2021年度、2022年度、2023年度、2024年度)の出題傾向はよく見ておくことが大切である。

年度別の大問、小問の配点構成、問題数

●2018年度

2点×22題+3点×2題=50点

問題数:20題

●2019年度

2点×10題+3点×10題=50点

問題数:20題

●2020年度

2点×19題+3点×4題=50点

問題数:23題

●2021年度/2022年度

2点×10題+3点×10題=50点

問題数:20題

●2023年度

2点×7題+3点×12題=50点

問題数:19題

●2024年度

2点×1題+3点×16題=50点

問題数:17題

●年度別〈正解の番号の個数〉

正解の番号	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度
①	4	4	6	6	7	4	2
②	6	7	7	2	4	4	7
③	3	4	6	5	5	6	4
④	9	5	4	7	4	5	4
⑤	2						

※2018年度に、⑤が少ないのは、5択の問題が10問のみで、他はすべて4択の問題であったことが理由である。

※〈一般常識〉の正解の番号には、規則性がなく、「迷ったら、〇番を選べ!」とは言いにくい。

<合格への道>

(1) 孫氏の兵法に曰く、「彼を知り己を知れば百戦殆からず」と申します。
まず、既出問題を見て、出題傾向、自分の強い分野、弱い分野を知ることがすべての出発点になります。

● [<一般常識>問題\(2016年度～2024年度\)](#)

(2) 次に<合格体験記>を読むことにより、合格者の足跡をたどり、合格への道のりを追体験してください。

<合格体験記>は合格への道筋を示してくれます。

また、勉強に行き詰まったときに<合格体験記>を読むと、必ず道が開けます。

● [<最終合格体験記>のまとめ\(2019年度～2024年度\)](#)

<無料学習サイト>

本資料とともに、下記の<無料学習サイト・資料>も有効活用していただきたい。

● [マラソンセミナー<一般常識>動画学習コーナー](#)

● [マラソンセミナー<一般常識>音声学習コーナー](#)

● [第1次邦文試験対策<特訓1800題>テキストデータ](#)

● [<FlashcardsDeluxe>による学習法](#)→<特訓1800題>を4択問題形式で学習できます。

2024年度(令和6年度)の問題分析				
大問	問題番号	出題内容	観光白書(完全版)の出典ページ/関連ページ 関連法など	重要度
1	1	2022年の訪日外国人旅行者数	令和5年(2023年)版(8ページ)	★★★
2	2	2022年の訪日外国人旅行消費額	令和5年(2023年)版(11ページ)	★★★
3	3	2022年の延宿泊者数	令和5年(2023年)版(19ページ)	★★★
4	4	観光関連産業の近年の状況	令和5年(2023年)版(20ページ)	★★
5	5	ベストツーリズムビレッジ	ベストツーリズムビレッジ	
6	6	出入国審査体制の整備・強化	令和5年(2023年)版(106ページ)	★★
7	7	宇宙航空研究開発機構(JAXA)	宇宙航空研究開発機構(JAXA)	
	8	探査機の名称(SLIM)	(SLIM)	
8	9	(ア)春闘 (イ)ベースアップ		
9	10	福島第一原子力発電所の処理水	福島第一原子力発電所の処理水	
10	11	COP28	COP28	★
11	12	七五三	七五三	★
12	13	大阪城	大阪城	
13	14	三社祭	三社祭	
15	16	旧岩崎家住宅	旧岩崎家住宅	
16	17	第20回アジア競技大会	令和6年(2024年)版(128ページ)	★

●17問中、5問(29.4%)が令和5年(2023年)版観光白書から出題された。

2023年度(令和5年度)の問題分析				
大問	問題番号	出題内容	観光白書(完全版)の出典ページ/関連ページ 関連法など	重要度
1	1	訪日外国人観光客数/国際観光収入	令和5年版(3)(7)	★★★
2	2	持続可能な観光の実現	令和5年版(61)(64)(111)(119)	★★
3	3	2021年の日本人国内旅行の状況	令和4年版(13)/令和5年版(15)	★★
4	4	日本の宿泊業の概要	令和5年版(20)	★★
5	5	2021年コロナ禍における観光関連企業の売上高及び利益状況	令和4年版(34)	★
6	6	地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地	令和5年版(65)(100)(137)	★
7	7	労働生産性	令和5年版(31)(32)(43)(44)(46)	★★
8	8	高度外国人材を増やす新たな受入策	令和5年版(68)	★
9	9	出生時育児休業(産後パパ育休)	育児・介護休業法	
	10			
10	11	LGBT(性的マイノリティ)対策	いじめ防止対策推進法	
11	12	マイナンバーカード	マイナンバーカード	★★
12	13	国民の祝日に関する法律	国民の祝日に関する法律	★★
13	14	沖縄国際海洋博覧会	沖縄国際海洋博覧会	★
	15	美ら海水族館	美ら海水族館	★
14	16	明治神宮	明治神宮	★
15	17	有楽町線・南北線の延伸	有楽町線・南北線の延伸	
16	18	世界文化遺産登録候補(彦根城)	彦根城	★★
17	19	伝統的酒造り	令和5年版(91)(128)	★★

- 19問中、9問(47.4%)が観光白書から出題された。
令和4年版より2題、令和5年版より7題が出題された。

2022年度(令和4年度)の問題分析				
大問	問題番号	出題内容	観光白書(完全版)の出典ページ 関連ページ	重要度
1	1	訪日外国人による旅行消費額(定番の問題)	令和4年版(9ページ)	★★★
2	2	訪日外国人旅行者数(国別)(定番の問題)	令和元年版(11ページ)	
	3	CIQは何の略か(Customs,Immigation,Quarantine)	令和4年版(9ページ)	★★
3	4	デジタル・トランスフォーメーション(DX)	令和4年版(96ページ)	★
4	5	パリ協定→温室効果ガス排出削減		★
5	6	アクティビティ	令和4年版(82ページ)	★
	7	アドベンチャーツーリズム	令和4年版(82ページ)	★★
6	8	ユニバーサルツーリズム	令和3年版(99ページ)	★
	9	心のバリアフリー	令和3年版(99ページ)	★
7	10	ダークツーリズム(記憶の継承)		★
8	11	住宅宿泊事業者が注意すべき点		
9	12	海底火山噴火の被害国		★★
10	13	2025年日本国際博覧会	令和4年版(29ページ)	★★
11	14	偽札防止の技術		
12	15	ユニークベニューの利活用法	令和4年版(156ページ)	★
13	16	エイサーが行われる時期(盆)		
14	17	どんど焼き		
15	18	日光東照宮の神仏習合の特徴		★
16	19	健康的な食生活を支える栄養バランス		★
17	20	「和食:日本人の伝統的な食文化」無形文化遺産		★★★

- 20問中、10問(50%)が観光白書から出題された。
令和元年版より1題、令和3年版より2題、令和4年版より7題が出題された。

毎年、「観光白書」から出題されるが、2025 年度は、令和 6 年(2024 年)版「観光白書」の下記は**特に重要**である。

- 2023 年(令和 5 年)の訪日外国人旅行者数は、**2,506.6 万人**だった。(★★★)

令和 6 年(2024 年)版「観光白書」(6 ページ)

第 2 章 日本の観光の動向 2021年①/2022年②/2023年①関連問題

2020 年以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内外の観光需要は大きく落ち込み、全国の観光地・産業は厳しい状況に置かれたが、**2022 年 10 月の水際措置の大幅緩和や全国旅行支援の開始以降、需要は急速に回復し、全国各地の多くの観光地が賑わいを取り戻している。**

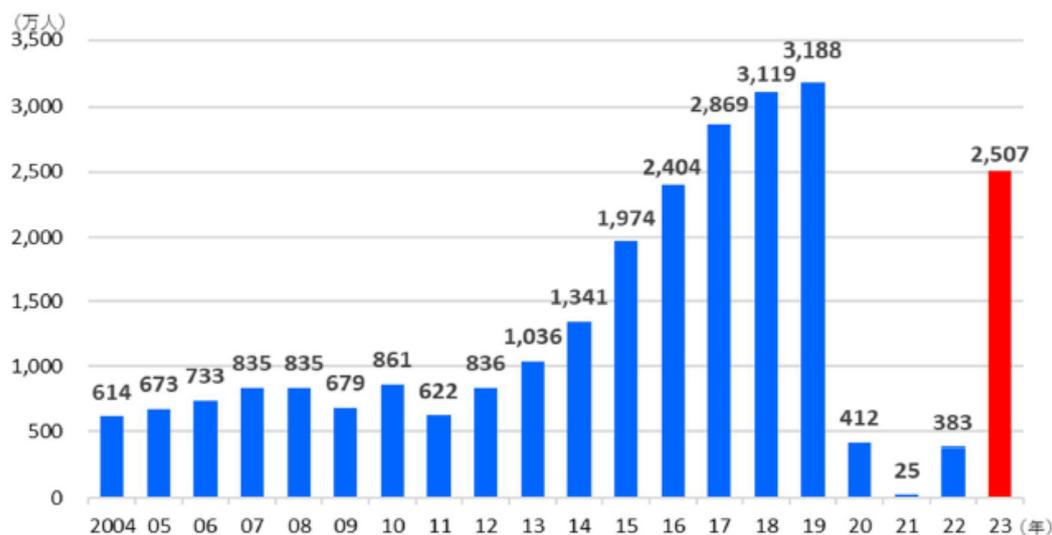
第 1 節 訪日旅行の状況 2021年①/2022年①/2023年①関連問題

1 訪日旅行の状況

訪日外国人旅行者数は、2019 年までは、ビザの戦略的緩和や訪日外国人旅行者向け消費税免税制度の拡充、CIQ³体制の充実といった施策を進めるとともに、航空・鉄道・港湾等の交通ネットワークの充実、多言語表記をはじめとする受入環境整備、魅力的なコンテンツの造成、日本政府観光局(JNTO)等による訪日プロモーション等により、過去最高を更新していたが、2020 年から 2022 年までの訪日外国人旅行者数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年間を通じて大きく減少した。

訪日外国人旅行者数は、2022 年 6 月の外国人観光客の受入再開、同年 10 月の水際措置の大幅緩和等により徐々に回復しはじめ、2023 年に入ってから東アジアを中心に大きく増加し、同年 10 月には 2019 年同月を超え、年間では 2,507 万人(2019 年比 21.4%減)となった(図表 I-7)。

図表 I-7 訪日外国人旅行者数の推移



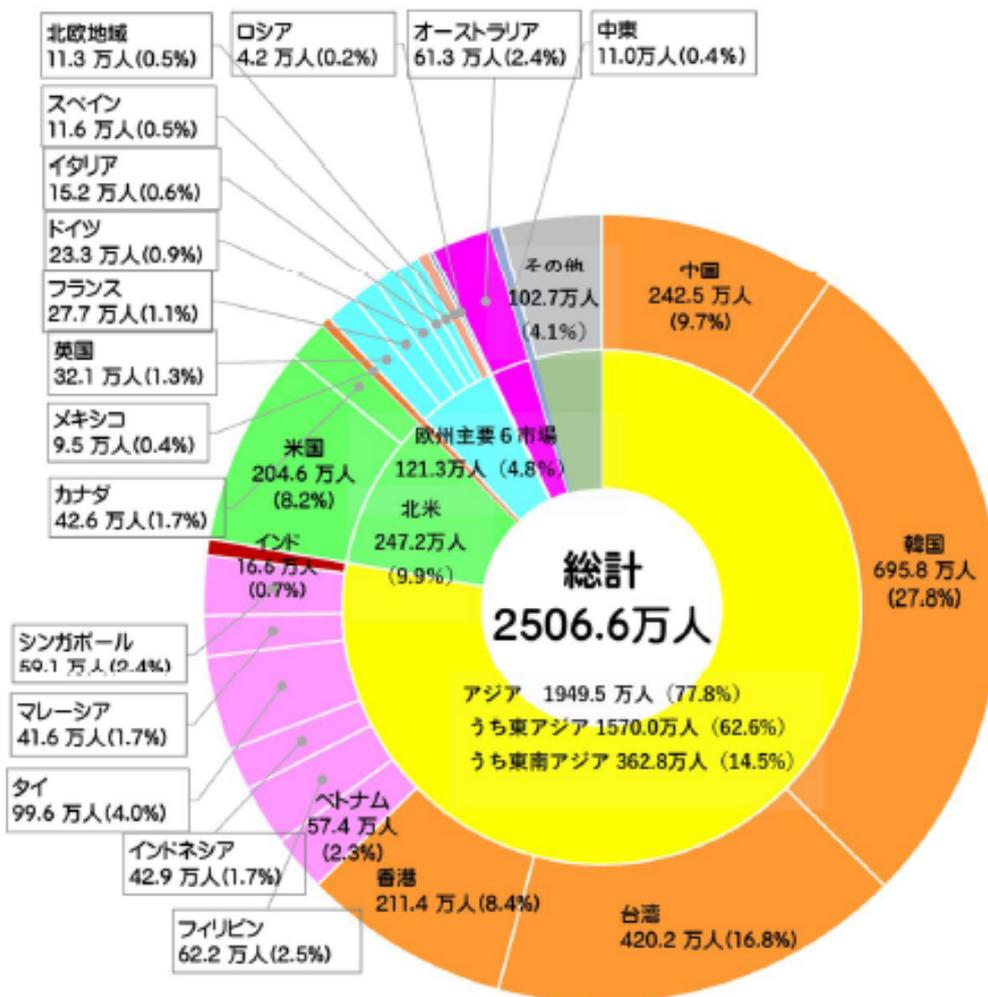
資料：日本政府観光局(JNTO)資料に基づき観光庁作成。

- 2023 年(令和 5 年)の国籍・地域別訪日外国人旅行者数(★★★)

- ①**韓国**(695.8 万人)(27.8%)
- ②**台湾**(420.2 万人)(16.8%)
- ③**中国**(242.5 万人)(9.7%)
- ④**香港**(211.4 万人)(8.4%)
- ⑤**米国**(204.6 万人)(8.2%)
- ⑥**タイ**(99.6 万人)(4.0%)

●訪日外国人旅行者の内訳 2023 年(令和 5 年)

令和 6 年(2024 年)版「観光白書」(8 ページ)



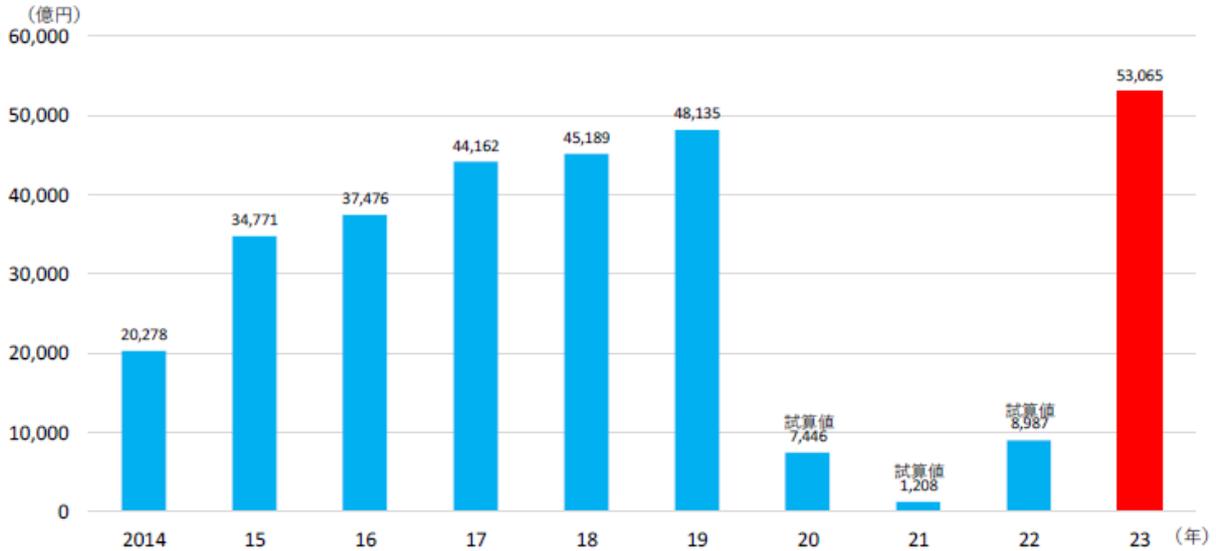
●訪日外国人旅行者による消費額の推移(★★)

- 2017 年(平成 29 年) (4兆 4,162 億円) (対前年比:17.8%増)
- 2018 年(平成 30 年) (4兆 5,189 億円) (対前年比:2.3%増)
- 2019 年(令和元年) (4兆 8,135 億円) (対前年比:6.5%増)
- 2020 年(令和 2 年) (7,446 億円) (対前年比:84.5%減)
- 2021 年(令和 3 年) (1,208 億円) (対前年比:83.8%減)
- 2022 年(令和 4 年) (8,987 億円) (対前年比:644.0%増)
- 2023 年(令和 4 年) (5兆 3,065 億円) (対 2019 年比:10.2%増)

令和 6 年(2024 年)版「観光白書」(9 ページ)

2023 年の訪日外国人旅行消費額は、5 兆 3,065 億円 (2019 年比 10.2%増) と過去最高となった。国籍・地域別にみると、台湾が最も大きく、次いで中国、韓国、米国、香港の順であった。2019 年と比較すると、中国の構成比が低下した一方、韓国や米国等の構成比が上昇した (図表 I-9、図表 I-10)。

図表 I-9 訪日外国人旅行者による消費額の推移



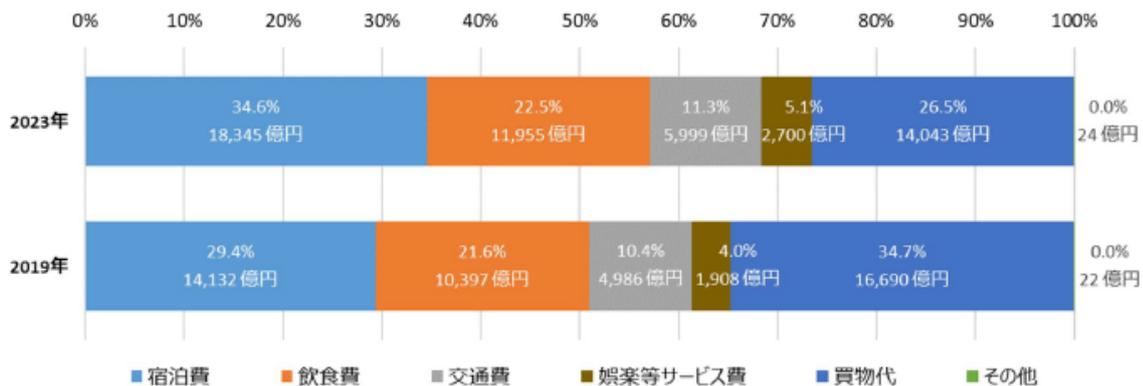
●費目別訪日外国人旅行消費額

- 2019 年度: ①買物代 ②宿泊費 ③飲食費 ←(2022 年度①に出題された!)
- 2022 年度: ①宿泊費 ②買物代 ③飲食費
- 2023 年度: ①宿泊費 ②買物代 ③飲食費

令和 6 年(2024 年)版「観光白書」(11 ページ)

2023 年の訪日外国人旅行消費額を費目別にみると、全体に占める割合では、宿泊費が 34.6%と最も高かった (図表 I-11)。

図表 I-11 費目別にみる訪日外国人旅行消費額



●地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり(11 モデル地域)

令和 6 年(2024 年)版「観光白書」(44 ページ)

2 先進的な地域事例のとりまとめ

地方部における訪日外国人旅行者の滞在傾向や消費動向の分析を踏まえ、訪日外国人旅行者の滞在促進や消費拡大に向けた地域における具体的な取組事例について紹介する。

観光庁では、地方誘客や地方部での消費拡大に向け、訪日旅行における消費単価が高い傾向にある高付加価値旅行者の地方誘客を促進するため、2023 年 3 月に、高付加価値なインバウンド観光地づくりに取り組む 11 のモデル地域を選定した。モデル地域では、他の事業とも連携の上、ウリ、ヤド、ヒト、コネ、アシの観点から総合的な施策を集中的に講じている。

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり (11 モデル地域)



これらの地域から、地域ならではの特別な体験の提供や周遊・長期滞在の促進等、消費拡大に向けた様々な取組により、道県別のインバウンド観光指標が堅調に回復している 3 地域（岩手県（東北エリア）、石川県及び熊本県）を事例として取り上げる。

岩手県は、欧米や東南アジアの延べ宿泊者数の回復率が高く、日帰り客を含む訪問者数と一人当たり平均泊数がいずれも新型コロナウイルス感染拡大前よりも増加している。石川県及び熊本県は全国籍・地域別でみた外国人延べ宿泊者数の回復率が高い地域であり、石川県では特に欧米豪、熊本県では東南アジアや米国の延べ宿泊者数の増加が大きい。また、3 県はいずれも新型コロナウイルス感染拡大前よりも旅行消費額が増加している。なお、岩手県については、東北地域が一体となった周遊・滞在促進等の取組が成果につながっていると考えられることから、東北エリア全体の取組等についても紹介する。

本項では、3 地域におけるインバウンド観光の状況を概観した上で、戦略的なプロモーション、地域独自の観光資源を生かした特別な体験の提供、周遊・長期滞在の促進、滞在拠点としての魅力向上、持続可能な観光地づくりの観点から、特筆すべき取組を紹介する。さらに各地域の特徴や共通点を見出し、地方部における訪日外国人旅行者の誘客や消費拡大に向けて重要な取組や施策の方向性について検討する。

以下、令和 6 年(202 年)版「観光白書」(44～60 ページ確認のこと)

2015年度～2024年度に2回～8回出題された重要項目

●9回出題

★★★[訪日外国人旅行者数](#)(2015)(2016)(2017)(2018)(2019)(2021)(2022)(2023)(2024)

●5回出題

★★★[訪日外国人消費額・動向](#)(2017)(2018)(2019)(2022)(2024)

●2回出題

<世界遺産><無形文化遺産>

- ★[和食\(無形文化遺産\)](#)(2017)(2022)
- ★[来訪神\(無形文化遺産\)](#)(2017)(2019)
- ★[明治の産業革命\(世界遺産\)](#)(2016)(2017)
- ★[和紙\(無形文化遺産\)](#)(2015)(2016)

<観光・交通>

- ★[明治神宮](#)(2015)(2023)
- ★[重要伝統的建造物群保存地区](#)(2015)(2019)
- [出国日本人数](#)(2017)(2018)
- [クルーズ船](#)(2017)(2018)
- [成田空港](#)(2015)(2016)

<文化・伝統>

- [結城紬](#)(2015)(2016)
- [西陣織](#)(2015)(2016)

<国立公園>

[尾瀬国立公園](#)(2016)(2017)

<スポーツ・イベント>

- [冬季オリンピック\(北京\)](#)(2018)(2020)
- [W杯カタール](#)(2018)(2022)
- [ラグビーワールドカップ日本大会](#)(2019)(2021)
- [夏季オリンピック\(東京\)1964](#)(2015)(2020)
- [横綱土俵入り](#)(2015)(2018)
- [外国人力士](#)(2015)(2018)
- [夏季オリンピック東京](#)(2015)(2017)(2020)

<食・芸能・その他>

- ★[ユニークベニュー](#)(2015)(2022)
- [築地市場初競り](#)(2017)(2018)
- [日本穀物検定協会](#)(2016)(2018)
- [清酒製法品質表示](#)(2016)(2018)

2015年度～2024年度に1回出題された重要項目

<世界遺産>

- ★[奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島](#)(2022)
- ★[IUCN\(国際自然保護連合\)](#)(2021)
- [伝統建築工匠の技:木造建築物を受け継ぐための伝統技術](#)(2021)
- ★[潜伏キリシタン](#)(2019)
- ★[宗像・沖ノ島](#)(2018)
- ★[富士山](#)(2017)
- [知床](#)(2017)
- [屋久島](#)(2017)
- [国立西洋美術館](#)(2017)
- [白神山地](#)(2017)
- ★[富岡製糸場](#)(2016)
- [ル・コルジュビエ](#)(2017)

<無形文化遺産>

- ★[伝統的酒造り\(無形文化遺産\)](#)(2023)
- [人間国宝\(=重要無形文化遺産\)](#)(2021)
- [山鉾・屋台\(無形文化遺産\)](#)(2017)

<日本遺産>

- ★[日本遺産](#)(2021)

<国立公園>

- ★[国立公園満喫プロジェクト](#)(2020)
- ★[日光国立公園](#)(2017)
- ★[富士箱根伊豆国立公園](#)(2017)
- [支笏洞爺国立公園](#)(2017)
- [伊勢志摩国立公園](#)(2017)
- [大雪山国立公園](#)(2017)
- [南アルプス国立公園](#)(2017)
- [奄美群島国立公園](#)(2017)
- [上信越高原国立公園](#)(2016)
- [屋久島国立公園](#)(2016)
- [阿蘇くじゅう国立公園](#)(2016)

<寺・神社>

- 日本で一番寺院が多い都道府県(愛知県)(2021)
- ★[伊勢神宮](#)(2015)
- ★[法隆寺](#)(2015)
- ★[東大寺](#)(2015)
- ★[太宰府天満宮](#)(2015)

[熊野那智大社](#)(2015)

[興福寺](#)(2015)

[無量光院](#)(2015)

[恵光院](#)(2015)

<観光>

★[ベストツーリズムビレッジ](#)(2024)

★[彦根城](#)(2023)

★[沖縄国際海洋博覧会](#)(2023)

★[美ら海水族館](#)(2023)

★[「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり\(11モデル地域\)」](#)(2023)

★[労働生産性](#)(2023)

★[CIQ体制](#)(2022)

★[デジタル・トランスフォーメーション\(DX\)](#)(2022)

★[アドベンチャーツーリズム](#)(2022)

★[ユニバーサルツーリズム](#)(2022)

★[2025年日本国際博覧会](#)(2022)

★[スマート・ベニュー](#)(2020)

★[ワーケーション](#)(2021)

[パッケージツアー\(募集型企画旅行\)](#)(2021)

★[旅行中に困ったこと](#)(2021)

[Living History\(生きた歴史体感プログラム\)](#)(2021)

[日本版MaaS](#)(2021)

★★[IR\(統合型リゾート\)](#)(2020)

★★[観光地域づくり法人\(DMO\)](#)(2020)

[海外危険度レベル](#)(2020)

[ディスカバー農山漁村の宝](#)(2020)

[国際会議協会:ICCA\(International Congress and Convention Association\)](#)(2020)

[国連世界観光機関\(UNWTO\)](#)(2020)

[査証\(ビザ\)](#)(2019)

[文化庁の移転](#)(2019)

[迎賓館赤坂離宮](#)(2019)

[京都迎賓館](#)(2018)

[皇居](#)(2018)

[京都御所](#)(2018)

[松本城](#)(2018)

[総理大臣官邸](#)(2018)

[日本遺産](#)(2017)

[旧弘道館](#)(2016)

[足利学校跡](#)(2016)

[旧閑谷学校](#)(2016)

[足尾銅山](#)(2016)

[横浜赤レンガ倉庫](#)(2016)

[特別天然記念物](#)(2016)

[鵜飼](#)(2016)

[野生生物生息地](#)(2016)

[桜-名所100選](#)(2016)

[メディカルツーリズム](#)(2015)

[東京空襲犠牲者碑](#)(2015)

[原爆死没者慰霊碑](#)(2015)

[平和祈念像](#)(2015)

[平和の礎](#)(2015)

[JATA](#)(2015)

[JNTO](#)(2015)

[地中美術館](#)(2015)

[安藤忠雄](#)(2015)

[全国産業観光フォーラム](#)(2015)

[全国工場夜景サミット](#)(2015)

<文化・伝統>

[七五三](#)(2024)

[三社祭](#)(2024)

[長崎くんち](#)(2024)

[郡上おどり](#)(2024)

[川越氷川祭](#)(2024)

[エイサー](#)(2016)(2022)

★[神仏習合](#)(2022)

[どんど焼き](#)(2022)

★[歌川広重](#)(2018)

★[葛飾北斎](#)(2018)

[東洲斎写楽](#)(2018)

[歌川国芳](#)(2018)

[喜多川歌麿](#)(2018)

[小千谷縮](#)(2017)

[芭蕉布](#)(2017)

[歌舞伎舞台](#)(2017)

[歌舞伎用語](#)(2017)

[黒留袖](#)(2015)

[色留袖](#)(2015)

[振袖](#)(2015)

[伝統工芸品](#)(2017)

[六古窯](#)(2017)

[郡上おどり](#)(2016)

[炭坑節](#)(2016)

[阿波踊り](#)(2016)

[即身成仏](#)(2015)

[国宝指定仏像](#)(2015)

[仁和寺木造薬師如来坐像](#)(2015)

[東大寺銅造毘盧遮那仏坐像](#)(2015)

<交通>

[高輪ゲートウェイ駅](#)(2019)

[TOHOKU EMOTION](#)(2018)

[旅する52席の至福](#)(2018)

[ザ・ロイヤルエクスプレス](#)(2018)

[瑞風](#)(2017)

[MICE](#)(2017)(2021)

[JR門司港駅](#)(2016)

[LCC](#)(2016)

<スポーツ・イベント>

[第20回アジア競技大会](#)(2024)

★[プライドパレード](#)(2020)

●日本の世界遺産の出題実績

近年では、2011年、2012年、2016年、2017年、2018年、**2019年、2022年、2023年**に出題されている。

2011年度:大問11「[ビキニ環礁](#)」

2012年度:大問3「[小笠原諸島](#)」

2016年度:大問6「[明治の産業革命](#)」

2017年度:大問4「[明治の産業革命](#)」「[富士山](#)」「[ル・コルビュジエの建築作品](#)」

2018年度:大問3「[『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群](#)」

2019年度:大問5「[潜伏キリシタン関連遺産](#)」、選択肢として、[百舌鳥・古市古墳群](#)、[『神宿る島』宗像](#)、

(例)2019年度:大問5

世界遺産に関する次の各問に対して、それぞれ答えなさい。

(1) 2018年にユネスコ世界遺産に登録されたものはどれか。次の1~4から一つ選びなさい。

- 1 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(正解)
- 2 百舌鳥・古市古墳群
- 3 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
- 4 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

2022年度「[奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島](#)」

2023年度「[彦根城](#)」(文化遺産の候補として)

各年度の問題を見て、**<出題のされ方>**を理解した上で準備をすることが重要である。

●世界遺産とは

[世界遺産\(World Heritage\)](#)とは、1972年のユネスコ総会で採択された「[世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約](#)」([世界遺産条約](#))に基づいて[世界遺産リスト](#)に登録された、遺跡、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」をもつ物件のことで、移動が不可能な不動産やそれに準ずるものが対象となっている。

日本では、**文化遺産 21件、自然遺産 5件の合計 26件**が登録されている。(2025年4月現在)

●文化遺産(Cultural Heritage)(計20件)

(1)[法隆寺地域の仏教建造物](#)(奈良県)(1993年登録)

(2)[姫路城](#)(兵庫県)(1993年登録)

(3)[古都京都の文化財](#)(京都府、滋賀県)(1994年登録)

(4)[白川郷・五箇山の合掌造り集落](#)(岐阜県、富山県)(1995年登録)

(5)[原爆ドーム](#)(広島県)(1996年登録)

(6)[厳島神社](#)(広島県)(1996年登録)

(7)[古都奈良の文化財](#)(奈良県)(1998年登録)

(8)[日光の社寺](#)(栃木県)(1999年登録)

(9)[琉球王国のグスク及び関連遺産群](#)(沖縄県)(2000年登録)

(10)[紀伊山地の霊場と参詣道](#)(奈良県、和歌山県、三重県)(2004年登録)

(11)[石見銀山遺跡とその文化的景観](#)(島根県)(2007年登録)

(12)[平泉—仏国土\(浄土\)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群](#)(岩手県)(2011年登録)

(13)★[富士山—信仰の対象と芸術の源泉](#)(山梨県、静岡県)(2013年登録)(2017年度出題)

(14)★★[富岡製糸場と絹産業遺産群](#)(群馬県)(2014年登録)

(15)★[明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業](#)(2015年登録)(2016年度・2017年度出題)

(16)★[ル・コルビュジエの建築作品—近代建築への顕著な貢献](#)(2016年登録)(2017年度出題)

(17)★★[『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群](#)(2017年登録)(2018年度出題)

(18)★★[「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」](#)(長崎、熊本両県)(2018年登録)(2019年度出題)

(19)★★[百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—](#)(大阪府堺市、羽曳野市、藤井寺市)(2019年登録)

(20)★★[北海道・北東北の縄文遺跡群](#)(北海道、青森県、岩手県、秋田県)(2021年登録)

(21)★★[佐渡島の金山](#)(新潟県)(2024年登録)

● 自然遺産(Natural Heritage)(計 5 件)

- (1) 屋久島 (鹿児島県) (1993 年登録)
- (2) 白神山地 (青森県、秋田県) (1993 年登録)
- (3) 知床 (北海道) (2005 年登録)
- (4) ★ 小笠原諸島 (東京都) (2011 年登録) (2012 年度出題)
- (5) ★★ 奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島 (鹿児島、沖縄) (2021 年登録)

※覚え方⇒(小笠原君が、屋久杉の前で、白装束で、『知床旅情』と『奄美音頭』を歌った。)

※「日本の世界遺産」について詳しくは、下記をご覧ください。

<http://nihon-sekaiisan.com/>

★ズバリ、2025 年度の出題予想ベスト 6 (ハロー注意報！)

- ① 佐渡島の金山 ② 北海道・北東北の縄文遺跡群 ③ 百舌鳥・古市古墳群 ④ 潜伏キリシタン ⑤ 『神宿る島』宗像 ⑥ 富岡製糸場

●佐渡島の金山(新潟県) (世界文化遺産)

「佐渡島の金山」は、日本における鉱山遺跡として初めての登録であり、日本の産業史や地域文化の価値が国際的に評価された重要な出来事です。世界遺産に関する問題は繰り返し出題されており、「佐渡島の金山」は今後十分に**出題される可能性がある**ので、しっかりと押さえておく必要があります。



「道遊の割戸」

佐渡島の金山は、新潟県佐渡市に位置し、江戸時代初期から昭和期にかけて金や銀の採掘が行われた大規模な鉱山です。中でも、相川地区にある「道遊の割戸(どうゆうのわりと)」は象徴的な景観であり、露天掘りの壮大さを今に伝えています。また、坑道、製錬所、水力設備、鉱山労働者の住宅などが一体的に保存されており、江戸時代における鉱山経営の実態や技術水準を示す貴重な産業遺産とされています。金の産出量は国内随一で、最盛期には日本全体の金の生産のかなりの部分を占め、徳川幕府の財政基盤を支える「御金山」として機能しました。

このような歴史的・技術的価値を背景に、日本政府や新潟県、佐渡市は2010年代から世界遺産登録に向けた取り組みを開始しました。2015年にはユネスコの暫定リストに記載され、推薦書の作成や遺構の整備、学術調査が進められていきました。しかし、登録に至る過程では、大きな課題も立ちました。

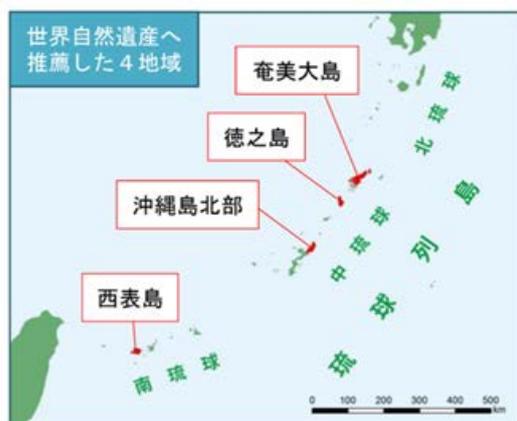
2021年に推薦が予定されていた際、韓国などから第二次世界大戦中の朝鮮半島出身者の強制労働に関する問題が指摘され、国際社会で大きな議論となりました。この問題をめぐり、歴史認識の対立が表面化し、当初の推薦は見送られることになりました。その後、日本政府は、対象時期を近世に特化することで戦時中の問題とは切り離し、佐渡島の金山が持つ本来の文化的価値に焦点を当てる形で推薦書を改訂しました。さらに、ICOMOS(国際記念物遺跡会議)やユネスコ委員国との対話を重ね、登録に向けた国際理解を得るための外交努力が継続されました。

その結果、2023年にICOMOSは「登録が適当」との勧告を行い、2024年に開催された第46回世界遺産委員会において、正式に世界文化遺産として登録が決定されました。登録の背景には、佐渡島の金山が示す近世日本の優れた鉱山技術、労働組織、社会制度、そして自然環境と調和した鉱山都市の形成が、世界的に見ても顕著な**普遍的価値(Outstanding Universal Value)**を有すると評価されたことがあります。

佐渡島の金山が世界文化遺産に登録された意義は、いくつかの点から整理することができます。第一に、日本の近世における鉱山技術や経済活動が国際的に認められたことです。第二に、産業遺産としての保存と活用において、地域社会による長年の取り組みが評価されたことです。第三に、歴史的対立を超えて国際的合意が形成され、文化遺産としての価値を丁寧に説明することで登録に至ったという点も、今日的な意味を持ちます。

全国通訳案内士試験では、世界遺産に関して、「登録までの経緯」「文化遺産としての価値」「国際的な動向や議論」などが問われることがあります。今回の佐渡島の金山の登録は、単なる地理的知識にとどまらず、歴史的背景や国際的な視点、さらには文化遺産の保護と活用のバランスについても考察する力が求められる好例といえるでしょう。受験者は、資料集や地図とあわせて、地理・歴史・国際関係の観点から総合的に理解を深めておくことが大切です。

●2022年(大問17問20)に出題された。



推薦地を含む4地域は、その面積が日本の国土面積の0.5%に満たないにも関わらず、日本の動植物種数に対して極めて大きな割合を占める種が生息・生育している。例えば、維管束植物は1,819種、陸生哺乳類21種、鳥類394種、陸生爬虫類36種、両生類21種が生息・生育している。全体として、陸域生物多様性ホットスポット「ジャパン」の陸生脊椎動物の約57%が推薦地を含む4地域に生息し、その中には日本固有の脊椎動物の44%、日本の脊椎動物における国際的絶滅危惧種の36%が包含される。また、推薦地では、国際的絶滅危惧種95種を含め、絶滅危惧種の種数及び割合も多い。

IUCNレッドリスト記載種のうち、奄美大島と徳之島のアマミノクロウサギは1属1種で近縁種は存在しない。沖縄島北部のヤンバルクイナは、絶滅しやすいことが知られている島嶼の無飛翔性クイナ類の1種である。トゲネズミ属は固有属で、中琉球の3地域にそれぞれの固有種が分布する。イリオモテヤマネコは“ヤマネコの生息する世界最小の島”西表島だけに生息する。

また推薦地では、多様な種分化、固有種の例が豊富に見られる。例えば、維管束植物は188種が、昆虫類は1,607種が固有種である。特に、陸生哺乳類(62%)、陸生爬虫類(64%)、両生類(86%)、陸水性カニ類(100%)では極めて高い固有種率を示している。これら推薦地の固有種には、進化的に独特かつ地球規模の絶滅危惧種であるEDGE種として選定されている種が20種もあり、そのうち、オキナワトゲネズミ、リュウキュウヤマガメ、クロイワトカゲモドキはトップ100種にランクされている。

このような、生物種数の多さ、絶滅危惧種や固有種の数の多さと割合の高さ、また、多様な種分化や進化の独特さは相互に関連しており、中琉球及び南琉球が大陸島として形成された地史の結果として生じてきた。琉球列島は中新世中期以前にはユーラシア大陸の東端を構成していたが、沖縄トラフや3つの深い海峡の形成によって大陸や他の島嶼と隔てられ、小島嶼群となった。そこに生息・生育していた陸域生物は、小島嶼に隔離され、独特の進化を遂げた。このため中琉球及び南琉球では、海峡を容易に越えられない非飛翔性の陸生脊椎動物群や植物で固有種の事例が特に明瞭に示されている。



アマミノクロウサギ



ヤンバルクイナ

●まだ出題されていないが、2023年度受験者は、**要注意!**



三内丸山(さんないまるやま)遺跡

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、「三内丸山遺跡」など、北海道と青森県、岩手県、それに秋田県にある17の縄文時代の遺跡で構成されています。

このうち北海道は大規模な貝塚の「北黄金貝塚」や、沿岸地域の集落跡の「大船遺跡」のほか、「垣ノ島遺跡」「入江貝塚」「高砂貝塚」「キウス周堤墓群」の6つの遺跡です。

青森県は最も多い8つの遺跡が構成資産に含まれています。

このうち、青森市の「三内丸山遺跡」は、東京ドームおよそ9個分にあたる広さ42ヘクタールの大規模な集落跡で、縄文時代の建築技術を示す「掘立柱建物」のほか、「竪穴建物」などが計画的に配置されていて、17の遺跡の中でも「学術上の価値が特に高い」とされています。

このほか、「大平山元遺跡」「田小屋野貝塚」「ニツ森貝塚」「小牧野遺跡」「大森勝山遺跡」「亀ヶ岡石器時代遺跡」、「是川石器時代遺跡」があります。

岩手県が、配石遺構などの墓域と祭祀場である盛土を伴う大規模な集落跡の「御所野遺跡」。

秋田県は2つの遺跡で、このうち鹿角市の「大湯環状列石」は、「秋田のストーンサークル」と呼ばれ、大小の石が配置された最大径が52メートルと44メートルの2つの環状列石などからなる祭祀遺跡で、17の遺跡の中でも「学術上の価値が特に高い」とされています。

このほか「伊勢堂岱遺跡」があります。



大湯(おおゆ)環状列石

17の遺跡について文化庁は、狩猟や採集、漁を基盤に人々が定住して集落が発展し、1万年以上続いた「縄文時代」の生活や精神文化を現代に伝えるもので、顕著な普遍的価値があるとしています。

遺跡群は、2005年に青森県が県内8つの遺跡を国内の推薦候補に提案しましたが見送られ、その後、北海道と岩手県、秋田県と共同提案して、2009年に国内の推薦候補の前提となる「暫定リスト」に掲載、政府は去年、世界文化遺産への登録を目指して推薦書をユネスコに提出していました。

な露天で祭祀が行われるようになり、この形の祭祀は 9 世紀(800 年代)末頃までの約 200 年間続きました。

●奈良時代(8 世紀(700 年代)前半)

この頃までに、沖津宮・中津宮(御嶽山祭祀遺跡)・辺津宮(下高宮祭祀遺跡)に宗像三女神が祀られる。それまで**自然崇拜**だった信仰に、**宗像三女神という人格神**への信仰も重なり、両者が併存しながら、後世の宗像地域の信仰の基盤となっていきました。(宗像三女神については後述)

●平安時代

・9 世紀(800 年代)

豪族・宗像氏が神主として神社に奉仕することになる。日本と唐や新羅との間の公的な交流がなくなり、沖津宮・中津宮・辺津宮でそれまで行われていた古代祭祀も下火になる。遣唐使が廃止され、京の都では「**国風文化**」と呼ばれる文化が開いた頃、宗像地域の古代からの祭祀は一旦の終わりを告げます。しかし、沖ノ島はその後も「**神宿る島**」として崇拜され、古代祭祀遺跡はほぼ手付かずの状態に現代に受け継がれました。

・12 世紀(1100 年代)

平安時代末期にあたる 12 世紀頃までに、九州本土の下高宮祭祀遺跡がある丘陵の麓に、**辺津宮の社殿が造営**される。

●室町時代～安土桃山時代

・16 世紀(1500 年代)

16 世紀までに、大島の御嶽山祭祀遺跡がある御嶽山の麓に、**中津宮の社殿が造営**される。中津宮の社殿は御嶽山山頂と参道で結ばれ、一体となっています。

・1578 年(天正六年)

前年に焼失した辺津宮本殿が、大宮司・宗像氏貞(うじさだ)により再建される。

・1590 年(天正十八年)

辺津宮拝殿が筑前領主・小早川隆景により再建される。

16 世紀に再建された辺津宮の本殿と拝殿は現在まで残り、共に国の重要文化財に指定されています。

●江戸時代

・17 世紀(1600 年代)半ば

この頃までに、沖ノ島の古代祭祀の祭場だった巨岩群の間に沖津宮の社殿が造営され、島全体が沖津宮の境内と定められる。

・1675 年(延宝三年)

第三代福岡藩主・黒田光之(みつゆき)により、地域にある宗像大社の末社が辺津宮の境内に集められ、祀られる。江戸時代には、福岡藩主・黒田氏により、辺津宮の社殿の造営や修理が度々行われました。

・18 世紀(1700 年代)半ば

この頃までに、大島の北岸に**沖津宮遙拝所**が設けられる。

遙拝所は他にもいくつか存在したようで、例えば江戸時代には、**九州本土の江口浜に沖津宮と中津宮の遙拝所**があり、福岡藩主が辺津宮を参拝した後は、ここから沖津宮と中津宮を遙拝したと伝わっています。

●明治時代

1907 年(明治 40 年)

辺津宮の拝殿・本殿が重要文化財に指定される。

●昭和時代

・1933 年(昭和 8 年)

沖津宮遙拝所の現在の建物が完成する。

・戦後

第二次世界大戦後、荒廃していた宗像神社が、宗像市出身の実業家・出光佐三(いでみつさぞう)の寄進によって整備される。

・1963 年(昭和 38 年)

宗像大社辺津宮で、日本で初めての**車用交通安全お守り**の授与が始まる。

●日本の無形文化遺産の出題実績

近年では、2012年、2014年、2015年(2題)、2017年(2題)、2019年、2022年、2023年に出題されている。

2012年度:大問5(問5)「[和食](#)」

2014年度:大問6(問5)「[祇園祭](#)」

2015年度:大問2(11)「[越前奉書紙](#)」「[細川紙](#)」

2015年度:大問2(14)「[結城紬](#)」「[西陣織](#)」

2017年度:大問4(2)「[山・鉾・屋台行事](#)」([祇園祭](#))」

2017年度:大問7(4)「[結城紬](#)」

2019年度:大問5(2)「[来訪神:仮面・仮装の神々](#)」

2022年度:大問16(19)「[和食日本人の伝統的な食文化](#)」

2023年度:大問17(19)「[伝統的酒造り](#)」(2024年の登録候補として)

特に、「[結城紬](#)」が、2015年、2017年に2回出題されているので注意が必要である。

各年度の問題を見て、<出題のされ方>を理解した上で準備をすることが重要である。

●無形文化遺産とは

[無形文化遺産](#)(Intangible Cultural Heritage)とは、ユネスコの事業の一つ。

同じくユネスコの事業である世界遺産が建築物などの有形の文化財の保護と継承を目的としているのに対し、[民族文化財](#)、[フォークロア](#)、[口承伝統](#)などの無形のもの(無形文化財)を保護対象とすることを旨としたものである。現在、日本には、22の[無形文化遺産](#)がある。

(1)★[能楽](#)(2001年)([定番として注意!](#))

(2)★[人形浄瑠璃文楽](#)(2003年)([定番として注意!](#))

(3)★[歌舞伎](#)(2005年)([定番として注意!](#))

(4)★[雅楽](#)(2009年)([定番として注意!](#))

(5)[小千谷縮](#)・[越後上布](#)(2009年)

(6)[奥能登のあえのこと](#)(2009年)

(7)[早池峰神楽](#)(2009年)

(8)[秋保の田植踊](#)(2009年)

(9)[チャッキラコ](#)(2009年)

(10)[大日堂舞楽](#)(2009年)

(11)[題目立](#)(2009年)

(12)[アイヌ古式舞踊](#)(2009年)

(13)[組踊](#)(2010年)

(14)★[結城紬](#)(2010年)([2015年度、2017年度出題](#))

(15)[佐陀神能](#)(2011年)

(16)[壬生の花田植](#)(2011年)

(17)[那智の田楽](#)(2012年)

(18)★[和食日本人の伝統的な食文化](#)(2013年登録)([2012年度出題](#))([2022年度出題](#))

(19)★[和紙](#)([石州半紙](#)、[本美濃紙](#)〈[美濃和紙](#)〉、[細川紙](#)〈[小川和紙](#)〉)(2014年登録)([2012年度出題](#))

(20)★[山・鉾・屋台行事](#)(18府県の計33件)(2016年登録)([2014年度、2017年度出題](#))

(21)★[来訪神:仮面・仮装の神々](#)(2018年登録)([2019年度出題](#))

(22)★[伝統建築工匠の技:木造建造物を受け継ぐための伝統技術](#)(2020年登録)



外国人に人気の日本の観光スポットランキング<ベスト 30>

世界最大級の旅行コミュニティサイト「[トリップアドバイザー](#)」が発表した「外国人に人気の日本観光スポットランキング」(2020年版)によると、ベスト30は以下の通りである。コロナの影響で、2021~2022年版はなし。

これらは、ガイドラインにある「外国人観光旅客が多く訪れている、又は、外国人観光旅客の評価が高い観光資源」なので要注意である。

●各観光地を[クリック](#)すると、説明文に[リンク](#)しますので、ご覧ください。

- 1位 : [広島平和記念資料館\(原爆ドーム、広島平和記念公園\)](#)／広島県広島市
- 2位 : [伏見稲荷大社](#)／京都府京都市
- 3位 : [箱根彫刻の森美術館](#)／神奈川県箱根町
- 4位 : [東大寺](#)／奈良県奈良市
- 5位 : [兼六園](#)／石川県金沢市
- 6位 : [新宿御苑](#)／東京都新宿区
- 7位 : [日光東照宮](#)／栃木県日光市
- 8位 : [人形ミュージアム](#)／石川県金沢市
- 9位 : [姫路城](#)／兵庫県姫路市
- 10位 : [高野山\(奥之院\)](#)／和歌山県高野町
- 11位 : [東京都庁展望台](#)／東京都新宿区
- 12位 : [永観堂禅林寺](#)／京都府京都市
- 13位 : [縮景園](#)／広島県広島市
- 14位 : [金閣寺](#)／京都府京都市
- 15位 : [愛宕念仏堂\(おたぎねんぶつじ\)](#)／京都府京都市
- 16位 : [大本山大聖院](#)／広島県廿日市市
- 17位 : [久保田一竹美術館](#)／山梨県富士吉田市
- 18位 : [宮島\(厳島神社\)](#)／広島県廿日市市
- 19位 : [地獄谷野猿公苑](#)／長野県山ノ内町
- 20位 : [根津美術館](#)／東京都港区
- 21位 : [奈良公園](#)／奈良県奈良市
- 22位 : [三十三間堂](#)／京都府京都市
- 23位 : [浅草寺](#)／東京都台東区
- 24位 : [京都鉄道博物館](#)／京都府京都市
- 25位 : [忠霊塔](#)／山梨県富士吉田市
- 26位 : [平等院](#)／京都府宇治市
- 27位 : [栗林公園](#)／香川県高松市
- 28位 : [中山道馬籠宿](#)／岐阜県中津川市
- 29位 : [奥入瀬溪流](#)／青森県十和田市
- 30位 : [弥山\(みせん\)](#)／広島県廿日市市



[伏見稲荷大社](#)

2017年度[大問9]に歌舞伎の舞台について出題されましたが、**2022年度は、能舞台に注意！**

●能舞台の特徴

能舞台は、観客席(見所)と舞台の間に緞帳も幕もなく、極度に簡略化された空間です。もともと、能舞台は野外にありました。能楽堂に収められた現在も、舞台に屋根がついていたり、欄干のある渡り廊下が伸びたり、松ノ木が立っていたり、というのは、野外の能の舞台を再現するためであり、さまざまな工夫がなされています。

たとえば、橋掛かりに植えられている一ノ松から三ノ松は、手前から次第に小ぶりになります。これは遠近法を用いた工夫です。照明も自然光と同様の状態を作り出すため控えめになっています。

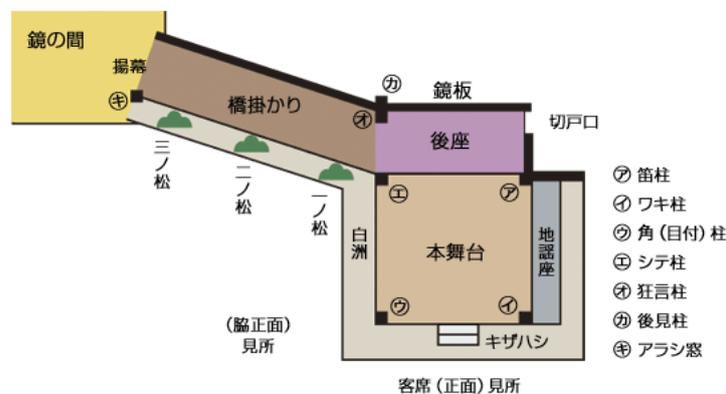
そして、音響上の工夫も成されています。能舞台の床下や橋掛がりの下に、大きな甕(かめ)を据える場合があります。これは、適度な吸音効果をもたらし、足で踏む拍子の響きをよくなるばかりではなく、笛や太鼓といった囃子の音、謡の声にも影響するといわれています。



●能舞台のつくり

能舞台は檜で作られています。舞台中央の後方に「鏡板」。舞台前方に「階(きざはし)」。向かって左に「橋掛かり」、その奥に幕があります。この形式が確立したのは、織田信長の活躍した時代より少し前だろうと推測されています。現在の構造になった最古のものは、秀吉が作らせたという西本願寺の北能舞台です。

能舞台は、本舞台、橋掛がり、後座、地謡座からなっています。本舞台は三間(5.4メートル)四方の正方形で、その中で演者の舞が行われます。



●能を語源とする語句

「板につく」能役者が舞台の上を吸い付くような足もとで歩くことから転じて、職業・任務などがその人にぴったり合うという意味。

「檜舞台を踏む」歌舞伎役者が、あこがれの能舞台を踏んだらどんなに嬉しいだろうと思う気持ちからでたらしい。転じて、自分の腕前を披露する晴れの機会を得るという意味。

●基本データ(頻出！)

- ・日本の人口: 1億 2,380 万人(2025 年 4 月)(2021 関連問題出題)
- ・合計特殊出生率: 1.20(2025 年)(2010 出題)
- ・65 歳以上の高齢者人口は、3,624 万人(2024 年 10 月)(2010 出題)
- ・労働力人口(全就業者数)(総務省発表): 6,987 万人(2024 年 6 月)
- ・完全失業者数(総務省発表): 165 万人(2025 年 2 月)
- ・完全失業率: 2.4%(2025 年 2 月)
- ・雇用者に占める非正規の職員・従業員の人数(比率): 2,126 万人(37.1%)(2024 年平均)(2010 出題)
- ・実質国内総生産: 557 兆円(2024 年度)
- ・実質経済成長率: 0.8%(2024 年度)
- ・2025 年度予算の一般会計総額: 115 兆 1978 億円
- ・日本の貿易相手国(輸出)(2024 年): 1 位: 中国、2 位: 米国、3 位: 台湾、4 位: 韓国、5 位: 香港(2012 出題)
- ・日本の貿易相手国(輸入)(2021 年): 1 位: 中国、2 位: 米国、3 位: 韓国、4 位: 台湾、5 位: 香港(2012 出題)
- ・個人金融資産残高: 2,230 兆円(対前年 4.0%増)(2024 年 12 月末)
- ・有効求人倍率: 1.29 倍(2025 年 2 月)
- ・総合食料自給率(カロリーベース): 38%(2023 年)
- ・国の借金(普通国債残高)(過去最高の 1,071 兆円)(2024 年 12 月末)

●ジャパン・レール・パス(Japan Rail Pass)(2016 出題)

ジャパン・レール・パスは、外国から日本を観光目的で訪れる人のみが購入できる特別企画乗車券である。購入にあたっては、次にあげる資格を満たしていることが必要である。

- ・外国から「短期滞在」の入国資格により観光目的で日本を訪れる外国人旅行者
日本の入国管理法が定める「短期滞在」の在留資格により、観光等の目的で 15 日間もしくは 90 日間の滞在が許されます。日本への入国にあたり観光目的の滞在を希望すると、入国審査官はあなたのパスポートに下記の「短期滞在」のスタンプ/シールを押します。

※ジャパン・レール・パスは、パスポートにこのスタンプ/シールを受けた方だけが引換・利用することができる。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

●国際連合

- ・国際連合の成立: 1945 年 10 月 24 日
- ・国際連合本部所在地: アメリカ・ニューヨーク
- ・原加盟国: 51 カ国
- ・現在の加盟国数: 193 カ国(2024 年 6 月現在)
- ・現在の国連事務総長: フィレモン・ヤン氏(カメルーン)(2024 年 6 月～)
- ・国連事務総長の任期: 5 年(2 期 10 年務めるのが慣例となっている)
- ・国際司法裁判所の所在地: オランダ・ハーグ
- ・安全保障理事会の構成: 常任理事国(米・英・仏・中・露)と非常任理事国(任期 2 年/10 カ国)の計 15 カ国

●EU(欧州連合)(2014 年度出題)

- ・現在の加盟国数: 27 カ国(2025 年 4 月現在)
- ・EU 本部所在地: ベルギー・ブリュッセル
- ・EU に関する条約(発効年): マーストリヒト条約(1993)⇒アムステルダム条約(1999)⇒ニース条約(2003)
- ・2007 年に加盟した国: ルーマニア/ブルガリア
- ・2013 年に加盟した国: クロアチア(2014)
- ・加盟候補国: トルコ/マケドニア

●ASEAN(東南アジア諸国連合)(2014 年度出題)

- ・ASEAN 加盟国: **インドネシア／フィリピン／マレーシア／タイ／シンガポール／ブルネイ／ベトナム／ミャンマー／ラオス／カンボジアの 10 カ国** ※本部＝インドネシア・ジャカルタ(←2014 年度出題)
- ・ASEAN+3: 1997 年のアジア通貨危機以後、ASEAN 首脳・財相・外相会議に日本・中国・韓国が参加。
- ・東アジア共同体(EAC)構想: ASEAN+3 にインド・オーストラリア・ニュージーランドを加えた 16 カ国で 2007 年 1 月フィリピン・セブにおいて第 2 回東アジア首脳会議が行われた。

●国内政治(2016 年度出題)

【国会】

- ・衆議院議員の定数: **465 人**・・・小選挙区 289 名／比例代表 176 名(←2016 年度出題)
- ・参議院議員の定数: **248 人**・・・選挙区 148 名(45 区)／比例代表 100 名(1 区)(←2016 年度出題)
- ・衆議院議員の任期: **4 年**(ただし、解散の場合には、その期間満了前に終了)
- ・参議院議員の任期: **6 年**(3 年ごとに議員の半数改選)
- ・選挙人資格: 衆議院・参議院選挙ともに **満 18 歳**以上の日本国民
- ・衆議院議員の被選挙権: **満 25 歳以上の日本国民**(←2016 年度出題)
- ・参議院議員の被選挙権: **満 30 歳以上の日本国民**
- ・衆議院議員選挙制度: **小選挙区比例代表並立制**★小選挙区では 1 選挙区から 1 名選出
- ・参議院議員選挙制度: **選挙区制・非拘束名簿式比例代表制**★選挙区は都道府県単位／比例代表は全国単位
- ・通常国会(常会): **毎年 1 回、1 月中**に召集される。会期は **150 日**。
- ・臨時国会(臨時会): 臨時の必要に応じて開かれる。会期は両院一致の議決による。
- ・特別国会(特別会): **総選挙後 30 日以内**に内閣総理大臣を指名するために開かれる。
(※衆議院が解散されたときは、**解散の日から 40 日以内**に衆議院議員の総選挙を行わねばならない)。

●憲法と自衛隊関連

- ・日本国憲法公布: 1946(昭和 21)年 11 月 3 日・日本国憲法施行: 1947(昭和 22)年 5 月 3 日
- ・日本国憲法の三大原理: **①国民主権②基本的人権の尊重③平和主義**
- ・自衛隊の発足: 1954 年
- ・国連平和維持活動等(PKO)協力法成立: 1992 年

●国立公園(2016 年度出題)

国立公園とは、自然公園法に基づき、日本を代表する自然の風景地を保護し利用の促進を図る目的で、環境大臣が指定する自然公園のひとつである。2025 年 4 月現在、**35**の国立公園が存在する。最も新しいものは 2024 年 6 月に指定された、**日高山脈襟裳十勝国立公園**である。

- (1)阿寒摩周国立公園(1934 年 12 月 4 日指定)
- (2)大雪山国立公園(1934 年 12 月 4 日指定)
- (3)支笏洞爺国立公園(1949 年 5 月 16 日指定)
- (4)知床国立公園(1964 年 6 月 1 日指定)
- (5)利尻礼文サロベツ国立公園(1974 年 9 月 20 日指定・利尻礼文国定公園から昇格)
- (6)釧路湿原国立公園(1987 年 7 月 31 日指定)
- (7)十和田八幡平国立公園(十和田国立公園として 1936 年 2 月 1 日指定)
- (8)磐梯朝日国立公園(1950 年 9 月 5 日指定)
- (9)三陸復興国立公園(2013 年 5 月 24 日指定)
- (10)日光国立公園(1934 年 12 月 4 日指定)
- (11)富士箱根伊豆国立公園(富士箱根国立公園として 1936 年 2 月 1 日指定)
- (12)秩父多摩甲斐国立公園(秩父多摩国立公園として 1950 年 12 月 4 日指定)
- (13)南アルプス国立公園(1964 年 6 月 1 日指定)
- (14)小笠原国立公園(1972 年 10 月 16 日指定)
- (15)尾瀬国立公園(2007 年 8 月 30 日指定・日光国立公園から尾瀬地域を分離)
- (16)中部山岳国立公園(1934 年 12 月 4 日指定)
- (17)伊勢志摩国立公園(1946 年 11 月 20 日指定)

近年では、2014年と2016年に日本国憲法に関する問題が出題されている。
両年に、**憲法改正の手続き**について出題されていることに注意。

●2014年に出題された問題に関連する事項

- ・日本国憲法の三大原則は、(国民主権)、(平和主義)、(基本的人権の尊重)である。
- ・天皇は、日本国および日本国民統合の(象徴)であり(国事行為)を行う。すべての国事行為には、(内閣)の助言と承認を必要とし、(内閣)が責任を負う。
- ・第9条の3つの規範的要素は、(戦争の放棄)、(戦力の不保持)、(交戦権の否認)である。
- ・日本国憲法では、立法権は(国会)、行政権は(内閣)、司法権は(裁判所)に分けた三権分立があるが、(国会)が国権の最高機関としている。
- ・憲法が保障する社会権として、(健康で文化的な最低限度の生活を営む権利)、(教育を受ける権利)、(勤労の権利)、(労働三権)がある。
- ・憲法改正は第96条に定められており、国会の発議には衆参両議院の議員の(3分の2以上)の賛成が必要である。周知期間を経た国民投票では(過半数)の賛成で承認となる。
- ・憲法が保障する自由権には、(精神的)自由権、(経済的)自由権、(身体的)自由権がある。
- ・身体的自由権では、下記が保障されている。
奴隷的な拘束を受けたり、犯罪処罰を除いて苦しい労働を強制されたりしない。
法律に基づかなければ、生命や自由を奪われない。
現行犯を除き、逮捕には(裁判官)が発行する令状が必要である。
拷問・残虐な刑罰が禁止されている。
自己に不利益な供述はしなくてよい。

●2014年、2016年に出題された問題

- ・憲法改正は、各議院の総議員の(3分の2以上)の賛成で、国会が発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その(過半数)の賛成を必要とする。

●予想問題

- ・天皇の皇位の世襲とその継承は国会の議決した(皇室典範)の定めるところによると規定されている。
- ・天皇は、国会の指名に基づく(内閣総理大臣)の任命、(内閣)の指名に基づく(最高裁判所)の長の任命を行う。
- ・第9条には、「日本国民は、正義と秩序を基調とする(国際平和)を誠実に希求し」と明記されている。
- ・日本国憲法で定められた国民の三大義務は、(義務教育を受けさせる義務)、(勤労の義務)、(納税の義務)である。
- ・健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を(生存権)と呼ぶ。
- ・国民の権利として、集会、結社及び言論、出版などの(表現)の自由を保障している。
- ・信教の自由を保障しているが、国家の宗教的活動は禁止している。この原則を(政教分離)という。
- ・労働者は、(団結権)、(団体交渉権)、(団体行動権)の(労働三権)を保障されている。
- ・「憲法改正の国民投票」「地方特別法の住民投票」「最高裁判所裁判官の国民審査」については、(直接民主制)を採用している。
- ・何人も「公共の福祉」に反しない限り、「居住」、「移転」及び(職業選択の自由)を有する。
- ・国民が広く政治に参加する権利である(参政権)の中心は、「選挙権」と「被選挙権」の2つである。
- ・日本国憲法の理念にのっとり、雇用の機会についての女性差別をなくすため、1986年4月に(男女雇用機会均等法)が施行された。
- ・日本国憲法は、人が生まれながらにもっている(自然権)は「侵すことのできない権利」として保障している。
- ・裁判所は、法律などが憲法に違反していないかどうかを審査し、違反している場合はそれを無効にする(違憲立法審査権)を持っている。

各問題に対する解答はマークシートの解答欄にマークすること。例えば と表示のある問題に対して④と解答する場合は、マークシート の解答欄の④にマークすること。

1. 2022 年の訪日外国人旅行者数を国・地域別にみると、アジア主要市場からの訪日外国人旅行者数が 279.1 万人となり、全体の 72.8% を占めた。
東アジアでは、(ア) が 101.3 万人と主要 22 市場のうちで最も多く、次が (イ) で 33.1 万人、(ウ) が 3 番目で 26.9 万人であった。これら 3 つの国・地域で訪日全体の 47.0% を占めた。
空欄ア～ウに当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

① (ア) 香港 (イ) 台湾 (ウ) 韓国 ② (ア) 中国 (イ) 韓国 (ウ) 台湾

③ (ア) 韓国 (イ) 台湾 (ウ) 香港 ④ (ア) 台湾 (イ) 中国 (ウ) 韓国

2. 2022 年の訪日外国人旅行消費額を費目別(宿泊費、飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代)で見ると、全体に占める割合では、(ア) が 34.2% と最も高く、次が (イ) で 26.3% を占め、3 番目が (ウ) で 22.6% を占めた。これら 3 つで訪日外国人旅行消費額の 83.1% を占めるに至っている。
空欄ア～ウに当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(2 点)

① (ア) 買物代 (イ) 交通費 (ウ) 飲食費

② (ア) 宿泊費 (イ) 買物代 (ウ) 飲食費

③ (ア) 娯楽等サービス費 (イ) 買物代 (ウ) 宿泊費

④ (ア) 飲食費 (イ) 宿泊費 (ウ) 買物代

3. 2022 年の延べ宿泊者数を地方ブロック別(北海道、東北、関東、北陸信越、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の 10 ブロック)で見ると、宿泊者数の上位 3 ブロックに当てはまる組み合わせはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

① 北海道、関東、九州

② 関東、近畿、中部

③ 関東、近畿、沖縄

④ 北海道、関東、近畿

4. 観光関連産業の近年の状況に関する説明のうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

① 宿泊・飲食サービスの雇用状況は、まん延防止等重点措置の全面解除や全国旅行支援の開始、水際措置の大幅緩和等により、人員不足感が高まっているようにみえたが、2023 年 3 月調査ではほとんどの企業において人員不足が解消されていた。それは、多くの外国人労働者の受け入れが、功を奏したためであった。

② 各年の経営状況を表す最も一般的な指標である経常利益の動向をみると、2020 年から 2022 年にかけての経常利益の推移は、観光関連産業のどの産業も営業利益に反して大幅な赤字となった。原因は、人手不足による労働生産性の低下が影響しているとみられる。

③ 2022 年の宿泊業(負債 1,000 万円以上)の倒産件数は 76 件(前年比 11.6% 減)となり、前年より件数は減少したものの、新型コロナウイルス感染症関連の倒産は 55 件と約 7 割を占めた。一方、旅行業の倒産件数は前年と比べて大幅に増加しており、新型コロナウイルス感染症が旅行業に大きく影響していることが分かる。

④ 宿泊業の売上高は、2022 年 3 月のまん延防止等重点措置の全面解除以降、増加傾向をみせ、本業で得たもうけである営業利益をみると、2022 年 10 - 12 月期には新型コロナウイルス感染拡大以降、初めて黒字に転換した。

〈受験者本人の参考用としての個人使用以外の行為を禁ずる。複製・転売を禁ずる。〉

5. **世界観光機関 (UN Tourism) による「ベストツーリズムビレッジ」**は、持続可能な開発目標 (SDGs) に沿って、観光を通じた自然・文化遺産の保全等により、持続可能な観光地域づくりに取り組む優れた地域を認定するプロジェクトである。2023 年 10 月 18 日現在、日本で認定を受けている 4 地域はどれか。次の①～④から正しいものを一つ選びなさい。 (3 点)

- ① 北海道美瑛町、宮城県奥松島地区、長野県白馬村、岐阜県白川村
 ② 福島県檜枝岐村、滋賀県琵琶湖地区、長野県美ヶ原、富山県五箇山
 ③ 北海道浜頓別町、栃木県奥日光地区、富山県立山町、福井県三方五湖
 ④ 北海道知床、鹿児島県奄美大島、東京都小笠原諸島、鹿児島県屋久島

6. 政府は、観光インフラの整備の一環として、出入国の円滑化を推し進めている。最先端技術を活用した革新的な出入国審査の実現に向けた、**CIQ体制の強化による更なる円滑かつ厳格な出入国審査体制の整備・強化の取り組み**に関する説明のうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

- ① 訪日外客専用のクレジットカードの導入およびクレジットカードの入国審査への適用
 ② 訪日客が多い中国におけるプレクリアランス (事前確認) の試行を 2023 年の春節期間中に実施
 ③ **自動化ゲートの対象拡大および顔認証ゲートの効率的な活用**
 ④ 出入国審査待ち時間を含む空港での諸手続に要する時間の非公開

7. 2024 年 1 月に、**国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構**は、月面への着陸に挑戦した無人探査機について、「着陸に成功した」と発表した。今回の月面着陸の成功は、日本では初めてで、世界でも旧ソビエト、アメリカ、中国、インドに続いて5カ国目となった。
同機構の略称 (ア)と今回の着陸に成功した**探査機の名称 (イ)**について、正しいものを次の①～④からそれぞれ一つ選びなさい。 (各 3 点×2=6 点)

- ア ① ISAS ② **JAXA** ③ SED ④ NASDA
 イ ① H3 ② H-IIA ③ **SLIM** ④ Crew-1

8. **近年の企業および労使関係**に関する説明である。空欄アとイに入る最も適切な語句を次の①～④から一つ選びなさい。 (3 点)

各企業等の労働組合は、全国中央組織の労働団体や産業別組織の指導・調整のもとに、毎年春に賃金引き上げ等を中心とする要求を各企業等に提出し、団体交渉を行う。これを一般に「(ア)」と呼んでいる。2023 年は 3.58% と、およそ 30 年ぶりの大幅な賃金引き上げが実現した。これは、働いている年数などに応じて上がる「定期昇給分」と、基本給の底上げにあたる「(イ)」をあわせた数字である。これだけ上がっても、物価の上昇に追い付かない状況が続いている。このため、2024 年は、物価を上回る賃金引き上げが実現できるかが、「(ア)」の焦点になっており、連合は「5%以上」という目標を掲げていた。

- ① (ア) 全面スト (イ) ペイアップ ② (ア) 春闘 (イ) ベースアップ
 ③ (ア) 全面スト (イ) ベースアップ ④ (ア) 春闘 (イ) ペイアップ

9. 2023 年 8 月に福島第一原子力発電所にたまる処理水の海への放出が始まった。そもそも処理水とはどんなものか。また汚染水との違いや、海に放出する理由に関する説明のうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① トリチウムは日本語では「三重水素」と呼ばれる、水素の仲間の放射性物質で、ろ過などで簡単に取り除くことができる。
- ② 「汚染水」は高濃度の放射性物質を含んだ水を意味し、「処理水」とは汚染水を「ALPS (アルプス)」と呼ばれる専用の設備でトリチウム等の物質を完全に浄化処理した水を指す。
- ③ 2023 年 7 月に、IAEA の調査団による調査の結果「包括報告書」が公表され、放出計画は国際的な安全基準に合致しており、管理された段階的な放出であれば、人や環境への放射線による影響は無視できる程度のものであると評価された。
- ④ トリチウムはほとんどが水の状態で存在するため、人や魚が取りこむと、そのまま体内に蓄積されるが、濃度が低ければ生物に対する影響は考えられずリスクを低く抑えることができる。

10

10. 2023 年 11 月 30 日からアラブ首長国連邦で開かれた気候変動対策の国連の会議、COP28 についての説明のうち、正しいものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① COP28 は、温室効果ガス (GHG) の排出削減目標や気候変動への対策について議論される「国連気候変動枠組条約締約国会議」の 28 回目の会議である。会議には G20 の代表のみが出席し、198 カ国の締約国は、会議の合意内容に対して意見書を提出する形で行われる。
- ② 世界全体の気候変動対策の進捗を評価する「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト・スコアリング」が初めて行われ、対策の強化に向けた合意文書が全体会合で採択された。
- ③ 化石燃料をめぐっては、欧米の先進国や島しょ国などが「完全廃止」を強く求めてきたのに対し、化石燃料に経済を依存する産油国などは「段階的な廃止」を主張し、交渉が難航してきた。
- ④ 2023 年 12 月 13 日、焦点となっていた化石燃料について、「段階的な廃止」には言及せず、「脱却を進める」ことで合意した。また、「2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするため、化石燃料からの脱却を進め、この重要な 10 年間で行動を加速させる」とした。

11

11. 七五三に関する記述 (説明) のうち、誤っているものはどれか。次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 七五三とは日本に古くからある伝統行事で、7 歳、5 歳、3 歳の子どもの成長を祝うものであり、神社・寺などで「七五三詣で」を行い、報告、感謝、祈願を行う奉告祭である。
- ② 七五三を 11 月 15 日に祝うのは、五代将軍徳川綱吉が息子の徳松の健康を祈願した日に由来するといわれている。
- ③ 七五三は、現在では全国で盛んに行われているが、江戸期に関東圏から広まったとされる。
- ④ 七五三は、古くからの風習である 3 歳の「髪置」、5 歳の「帯解」、7 歳の「袴着」に由来するといわれている。

12